

目次

第1章 総則	1
第1条（約款の適用）	1
第2条（約款の変更）	1
第3条（用語の定義）	1
第4条（基本サービスの内容）	2
第5条（オプションサービス種目）	3
第6条（提供区域）	3
第7条（利用契約の単位と期間）	4
第8条（申し込みの承諾）	4
第9条（回線識別番号）	4
第10条（加入者が行う基本サービス提供の一時中断）	5
第2章 サービスについて	5
第11条（加入者の維持責任）	5
第12条（加入者の切分責任）	5
第13条（修理または復旧）	5
第14条（修理または復旧の場合の暫定措置）	6
第15条（回線識別番号その他の情報の登録等）	6
第16条（SIMカードの管理責任）	6
第17条（電波伝播条件による通信場所の制約）	6
第18条（通信速度）	6
第19条（インターネット接続サービスの利用）	6
第20条（通信利用の制限）	6
第21条（通信の利用を制限する措置）	7
第22条（国際通話および国際ローミングの利用を制限する措置）	7
第23条（端末設備に異常がある場合等の検査）	7
第24条（自営電気通信設備に異常がある場合等の検査）	8
第25条（端末設備および自営電気通信設備が適合すべき技術基準等）	8
第26条（端末設備の電波発射の停止命令があった場合の取り扱い）	8
第27条（端末設備の電波法に基づく検査）	8
第28条（自営電気通信設備の電波発射の停止命令があった場合の取り扱い）	8
第29条（自営電気通信設備の電波法に基づく検査）	9
第30条（Web フィルタリングの内容）	9
第31条（Norton マルチデバイスセキュリティの内容と免責事項）	9
第32条（メールウイルスチェックの内容と免責事項）	9
第33条（迷惑メールチェックの内容と免責事項）	9

第34条（セキュリティアプリの内容と免責事項）	10
第35条（危険SMS拒否設定と免責事項）	10
第3章 雑則	10
第36条（通信の秘密）	10
第37条（サイバー攻撃への対処）	10
第38条（機密保持）	11
第39条（禁止事項）	11
第40条（情報の削除等）	12
第41条（著作権等）	13
第42条（損害賠償の免責および特約事項）	13
付則	13
●音声プランにおける初期設定サポートに関する特約	14
●ケーブルテレビ品川エリア版 イッツコム SIMに関する特約	14

イツコム SIM契約約款

第1章 総則

第1条（約款の適用）

イツコム・コミュニケーションズ株式会社（以下「当社」といいます。）は、電気通信事業法（昭和59年法律第86号、以下「法」といいます。）およびその他の法令に従うとともに、当社の定めるイツコムサービス契約約款（以下「共通約款」といいます。）およびイツコムSIM契約約款（以下「基本サービス約款」といいます。）に基づき、イツコムSIM（以下「基本サービス」といいます。）を提供するものとします。

第2条（約款の変更）

当社は、次条（用語の定義）に定める加入者の同意を得ることなく基本サービス約款を変更することがあります。その場合には、料金その他の提供条件は、変更後の基本サービス約款によるものとします。

2. 基本サービス約款を変更する場合、当社は可能な限り事前に、当該変更により影響を受ける加入者に対し、当社の定める方法により告知するものとします。

第3条（用語の定義）

基本サービス約款において使用する用語は、次の意味で使用します。

用語	用語の意味
申込者	基本サービスの利用申し込みをする個人または法人
加入者	当社と利用契約を締結している個人または法人
利用者	加入者が締結した利用契約に基づいて、基本サービスを利用する者
利用契約	当社から基本サービスの提供を受けるための契約
世帯	同一の住居で起居し、生計を同じくする者の集団
ドコモ等	株式会社NTTドコモ（以下「ドコモ」といいます。）および株式会社インターネットイニシアティブ（以下「IIJ」といいます。）の総称
電気通信	有線、無線その他の電磁的方式により、符号、音響または映像を送り、伝え、または受けること
電気通信設備	電気通信を行うための機械、器具、線路、その他の電氣的設備
電気通信回線	加入者が電気通信事業者（法第9条の登録を受けた者をいいます。）から電気通信サービスの提供を受けるために使用する電気通信回線設備
電気通信回線設備	送信の場所と受信の場所との間を接続する伝送路設備および、これと一体として設置される交換設備ならびにこれらの付属設備
電気通信サービス	電気通信設備を用いて他人の通信を媒介し、その他電気通信設備を他人の通信の用に供することを目的とするサービス
無線基地局設備	端末との間で電波を送り、または受けるためのドコモ等の電気通信設備
加入者回線	基本サービス約款に基づいて無線基地局設備と加入者が指定する端末との間に設定される電気通信回線
加入者回線等	加入者回線および加入者回線にパケット通信網を介して接続される電気通信網であって、当社またはドコモ等が必要に応じ設置する電気通信設備
端末設備	加入者回線の一端に接続される電気通信設備であって、一の部分の

用語	用語の意味
	設置の場所が他の部分の設置の場所と同一の構内（これに準ずる区域内を含みます。）または同一の建物内であるもの
自営電気通信設備	電気通信事業者以外の者が設置する電気通信設備であって、端末設備以外のもの
インターネット接続サービス	パケット通信モードの利用によりインターネットへの接続を可能とする電気通信サービス
ドコモ通信網	ドコモ等により提供するSC-FDMA方式、OFDMA方式またはDS-SS-SS-SS方式による伝送交換設備を用いた移動無線通信に係る通信網を使用して行う電気通信サービス
機器	基本サービスの利用にあたって使用するSIMカード、端末および付属品の総称
イッツコムSIM	ドコモ通信網を使用して行う電気通信サービスであって、当社が提供するサービス
端末	基本サービス約款に基づいて、陸上（河川、湖沼およびわが国の沿岸の海域を含みます。）において使用されるアンテナおよび無線送受信装置
回線識別番号	加入者回線を識別するための各種識別番号
SIMカード	回線識別番号その他の情報を記憶することができるカードであって、当社が基本サービスの提供のために加入者に貸与するICカード
一時中断	回線識別番号を他に転用することなく基本サービスを一時的に利用できないようにすること
料金等	サービスに関し、加入者が当社に対し支払うべきイッツコムサービス料金表に定める対価等
通知	特定の相手に個別に情報を伝えること
告知	広く多くの相手に情報を伝えること

第4条（基本サービスの内容）

当社は、ドコモ等が提供するドコモ通信網を介してイッツコムSIMを利用して音声通話またはデータ通信を行う電気通信サービスを提供するものとします。

2. 基本サービスで提供するサービス品目は、次の通りとします。

サービス品目
音声プラン（50GB）、音声プラン（30GB）、音声プラン（20GB）、音声プラン（10GB）、音声プラン（6GB）、音声プラン（3GB）、音声プラン（0GB）、データ専用プラン（50GB）、データ専用プラン（30GB）、データ専用プラン（20GB）、データ専用プラン（10GB）、データ専用プラン（6GB）、データ専用プラン（3GB）

3. 前項のサービス品目を利用する場合、次の標準機能を利用することができるものとします。

(1) 音声プラン

インターネット通信規格（プロトコル）による音声通話ならびに相互通信

標準機能
音声通話（国際通話、国際ローミングを含みます。）、データ通信（SMS送信を含みます。）、メールアドレス（5個）、どこでもメール、メールウイルスチェック、迷惑メールチェック、セキュリティアプリ

※緊急地震速報やJ-ALERT等は、使用する端末によっては利用できない場合があります。

(2) データ専用プラン

インターネット通信規格（プロトコル）による相互通信

標準機能

データ通信

※緊急地震速報や J-ALERT 等は、使用する端末によっては利用できない場合があります。

4. 前項第 1 号において、音声プランには次のコースがあります。
 - (1) 基本コース
通話時間により料金表に定める通話料がかかります
 - (2) 10 分かけ放題コース
回数にかかわらず、一部を除き、国内通話に限り通話時間 10 分以内の料金はかかりません。通話時間が 10 分以上の場合、料金表に定める通話料がかかります
 - (3) かけ放題コース
一部を除き、一般の国内通話に限り通話料金はかかりません
5. 第 2 項のサービス品目は、次のいずれかの S I M カードを利用するものとします。
 - (1) 標準 S I M
 - (2) micro S I M
 - (3) nano S I M
6. 第 2 項のサービス品目と端末は、次のいずれかの組み合わせで利用するものとします。
 - (1) 音声プランと端末（スマホタイプ）
 - (2) データ専用プランと端末（スマホタイプ）
 - (3) データ専用プランと端末（モバイルルーター）
7. 基本サービスの提供に際し、加入者は、5 G 通信機能を持つ端末を使用することができます。ただし、5 G 通信の利用には利用申し込みが必要です。なお、5 G 非対応の端末で利用申し込みをした場合、通信ができなくなる可能性があります。また、5 G 通信の利用申し込みをして 5 G 端末を使用する場合は、3 G サービスの利用はできません。
8. 当社は、サービス品目の内容を変更することがあります。この場合、当社ホームページ上での掲載等、当社の定める方法により告知するものとします。

第 5 条（オプションサービス種目）

基本サービスで提供するオプションサービスのサービス種目（以下「オプションサービス種目」といいます。）は、次の通りとします。

オプションサービス種目

留守番電話、データ容量追加、Web フィルタリング、Norton マルチデバイスセキュリティ
--

2. 留守番電話は、音声プランご契約の場合のみご利用可能です。また、加入者により当社が定める方法で申し込みのあった日よりご利用開始までに最大 6 日間かかります。なお、ご利用開始当月内の解約はできません。
3. 加入者は、利用者が 18 歳未満の場合、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」に従い、原則として Web フィルタリングを申し込むものとします。
4. 当社は、オプションサービス種目の内容を変更することがあります。この場合、当社ホームページ上での掲載等、当社の定める方法により告知するものとします。

第 6 条（提供区域）

基本サービスは、ドコモが定める F O M A サービス契約約款、X i サービス契約約款および 5 G サービス契約約款におけるサービス提供区域において行うことができるものとします。

2. 前項にかかわらず、利用契約を申し込む場合に限り、申込者および利用者の住所または所在地は、当社が特に認める場合を除き、当社ホームページ上での掲載等、当社が別途定めるサービスエリアに限られるものとします。

第7条（利用契約の単位と期間）

当社は、次の通り回線識別番号1番号毎に、1件の利用契約を締結するものとします。

利用契約	回線識別番号	SIMカード	端末
「SIMカード」のみの場合	1番号	1枚	—
「SIMカード」+「端末」の場合	1番号	1枚	1台

- 加入者は、1世帯または1法人につき原則として、第4条（基本サービスの内容）第3項に定める音声プランまたはデータ専用プランをあわせて最大5つの利用契約を申し込むことができるものとします。ただし、法人の場合、音声プランを申し込むことはできないものとします。また、利用者による基本サービスの利用は、加入者による利用とみなし、利用者は加入者と同じ責を負うものとします。
- 加入者は、端末を音声プランまたはデータ専用プランとあわせて申し込むものとし、端末単体で申し込むことはできないものとします。
- 契約期間は、次の通りに定めるものとします。
 - 「SIMカード」のみの利用契約の場合
共通約款第9条（利用契約の成立と利用開始日）第3項に定めるサービス品目の利用開始日が属する月（以下「利用開始月」といいます。）の翌月から12ヵ月間とします。
 - 「SIMカード」+「端末」の利用契約の場合
「SIMカード」は前号の規定を準用するものとし、「端末」は利用開始月の翌月から24ヵ月間とします。
- 前項いずれの利用契約の場合も、契約期間満了の10日前までに当社、加入者いずれからも当社所定の方法により何等の意思表示もない場合には、引き続き、12ヵ月間の期間をもって更新するものとし、以後も同様とします。
- 「SIMカード」+「端末」の利用契約の場合、端末について、25ヵ月目以降加入者は無料で継続して端末を利用できるものとします。なお、加入者が端末の利用を終了する場合、かつ、端末が不要である場合には、当社へ端末を返還できるものとします。
- 「SIMカード」+「端末」の利用契約の場合、端末について、利用開始月の翌月から25ヵ月目以降、加入者は、希望により共通約款第11条（契約内容の変更）に基づき、端末の変更または追加を請求することができます。この場合、変更または追加した端末について、前項の規定を準用するものとします。ただし、共通約款第25条（利用契約終了に伴う料金等の精算方法）第2項の規定により解約料金を支払う場合は、利用開始月の翌月から24ヵ月以内の場合であっても、端末の変更または追加を請求することができるものとします。

第8条（申し込みの承諾）

当社は、利用契約の申し込みがあったときは、原則として受け付けた順序に従って承諾するものとします。

- 前項の規定にかかわらず、当社は、通信の取り扱い上余裕がないときは、その申し込みの承諾を延期することがあります。

第9条（回線識別番号）

回線識別番号は、加入者回線毎に当社が定めるものとします。

- 当社は、技術上および業務の遂行上やむを得ない理由があるときは、回線識別番号を変更することがあります。
- 前項の規定により、回線識別番号を変更する場合には、あらかじめそのことを加入者に通知するものとします。
- 加入者は、番号ポータビリティによる申し込みを希望する場合、その旨を当社に通知するものとします。番号ポータビリティの契約者情報および本人確認書類に記載された情報が一致しない場合、番号ポータビリティの申し込みを承諾しない場合があります。

第 10 条（加入者が行う基本サービス提供の一時中断）

当社は、加入者から S I Mカードの盗難・紛失その他の事由により基本サービス提供の一時中断の請求があったときは、当社所定の方法により行うものとします。

2. 前項に基づき、一時中断を受けた加入者が、当該一時中断の解除を請求する場合は、当社所定の方法により行うものとします。
3. 加入者は、一時中断を行った場合も、その期間中継続して料金等を支払うものとします。
4. 一時中断および一時中断解除の手続きは、請求を受けてから一定期間後に完了します。なお、当該一時中断の請求後、手続き完了までに生じた料金等は、加入者による利用であるか否かに関わらず、加入者の負担とします。

第 2 章 サービスについて

第 11 条（加入者の維持責任）

加入者は、端末設備または自営電気通信設備を、技術基準および技術的条件（昭和 60 年郵政省令第 31 号）等に適合するよう維持するものとします。

2. 前項の規定のほか、加入者は、端末を、無線設備規則に適合するよう維持するものとします。
3. 本条の規定に違反した場合、基本サービスの提供を停止することがあります。

第 12 条（加入者の切分責任）

加入者は、端末設備または自営電気通信設備が加入者回線に接続されている場合であって、加入者回線その他当社の電気通信設備を利用することができなくなったときは、その端末設備または自営電気通信設備に故障のないことを確認のうえ、当社に修理の請求をするものとします。

第 13 条（修理または復旧）

当社は、当社の提供した電気通信設備が故障または滅失した場合において、その全部を修理し、または復旧することができないときは、第 20 条（通信利用の制限）の規定により優先的に取り扱われる通信を確保するため、次の順位に従って同条第 1 項に規定する機関の電気通信設備を修理し、または復旧するものとします。

順位	修理または復旧する電気通信設備
1	気象機関に提供されるもの 水防機関に提供されるもの 消防機関に提供されるもの 災害救助機関に提供されるもの 秩序の維持に直接関係がある機関に提供されるもの 防衛に直接関係がある機関に提供されるもの 海上の保安に直接関係がある機関に提供されるもの 輸送の確保に直接関係がある機関に提供されるもの 通信役務の提供に直接関係がある機関に提供されるもの 電力の供給の確保に直接関係がある機関に提供されるもの
2	水道の供給の確保に直接関係がある機関に提供されるもの ガスの供給の確保に直接関係がある機関に提供されるもの 選挙管理機関に提供されるもの 新聞社等の機関に提供されるもの 金融機関に提供されるもの その他重要通信を取り扱う国または地方公共団体の機関に提供されるもの （第 1 順位となるものを除きます。）
3	第 1 順位および第 2 順位に該当しないもの

2. 当社またはドコモ等の電気通信設備が故障し、または滅失した場合は、速やかに修理し、ま

たは復旧するものとします。

第 14 条（修理または復旧の場合の暫定措置）

当社は、当社またはドコモ等の電気通信設備を修理または復旧するときは、一時的にその回線識別番号を変更することがあります。

第 15 条（回線識別番号その他の情報の登録等）

当社は、当社の貸与する SIM カードに回線識別番号その他の情報の登録等を行います。

2. 当社は、前項の規定によるほか、第 9 条（回線識別番号）第 2 項または前条（修理または復旧の場合の暫定措置）の規定により回線識別番号を変更する場合は回線識別番号等の登録を行います。

第 16 条（SIM カードの管理責任）

SIM カードの貸与を受けている加入者は、その SIM カードを善良な管理者の注意をもって管理するものとします。

2. SIM カードの貸与を受けている加入者は、SIM カードについて盗難にあった場合、紛失した場合または毀損した場合は、速やかに当社に届け出るものとします。
3. 当社は、第三者が SIM カードを利用した場合であっても、その SIM カードの貸与を受けている加入者が利用したもののみとみなします。
4. 当社は、SIM カードの盗難、紛失または毀損に起因して生じた損害等について、責任を負わないものとします。

第 17 条（電波伝播条件による通信場所の制約）

加入者回線との間の通信は、第 6 条（提供区域）に定める提供区域内に限り行うことができるものとします。ただし、そのサービス区域内にあっても、屋内、地下、トンネル、ビルの陰、山間部、海上等電波の伝わりにくいところでは、通信を行うことができない場合があります。

第 18 条（通信速度）

当社が提供する基本サービスにおいては、実際の通信速度は、接続状況、加入者が使用する通信機器、ネットワーク環境、その他の理由により変化するものであることを、加入者はあらかじめ承諾するものとします。

2. 基本サービスはベストエフォート型通信サービスであり、当社は通信速度を保証しません。ネットワーク区間における技術的な制約により通信速度が制限される場合があります、当社はその速度を保証しません。
3. 加入者が料金表で規定する 1 ヶ月間で利用可能な通信容量（前月からの繰り越し分を含みません。）を超過した場合は、通信速度を制限する場合があります。
4. その他、ご利用状況により通信速度を制限する場合があります。

第 19 条（インターネット接続サービスの利用）

加入者は、インターネット接続サービスを利用することができます。

2. 当社は、インターネット接続サービスの提供により生じた損害については、当社の責に帰すべき事由を除き、一切の責任を負わないものとします。

第 20 条（通信利用の制限）

当社またはドコモ等は、通信が著しく輻輳し、通信の全部を接続することができなくなった場合は、電気通信事業法施行規則（昭和 60 年郵政省令第 25 号。以下「事業法施行規則」といいます。）第 55 条および第 56 条に規定された公共の利益のために優先的に取り扱われる通信を確保するため、次に掲げる機関以外のものによる通信の利用を中止する措置をとることがあります。この場合、当社は、基本サービスの提供を休止することがあります。

機関名
<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象機関 ・ 水防機関 ・ 消防機関 ・ 災害救助機関 ・ 秩序の維持に直接関係がある機関 ・ 防衛に直接関係がある機関 ・ 海上の保安に直接関係がある機関 ・ 輸送の確保に直接関係がある機関 ・ 通信役務の提供に直接関係がある機関 ・ 電力の供給の確保に直接関係がある機関 ・ 水道の供給の確保に直接関係がある機関 ・ ガスの供給の確保に直接関係がある機関 ・ 選挙管理機関 ・ 新聞社等の機関 ・ 金融機関 ・ その他重要通信を取り扱う国または地方公共団体の機関

第 21 条（通信の利用を制限する措置）

前条（通信利用の制限）の規定による場合のほか、当社またはドコモ等は、加入者に事前に通知することなく次の通信利用の制限を行うことがあります。

- （１）通信が著しく輻輳する場合に、通信時間または特定地域の加入者回線等への通信の利用を制限すること
- （２）パケット通信を行うために設定された加入者回線を一定時間以上継続して保留し当社またはドコモ等の電気通信設備を占有する等、その通信が基本サービスの提供に支障をおよぼすおそれがあると当社が認めた場合に、その通信を切断すること
- （３）特定の加入者回線に一定期間内に大量または多数の通信があったと当社が認めた場合において、当該加入者回線からの通信の利用を制限または中止すること
- （４）加入者が、約款に定める禁止事項に規定する禁止行為を行った場合に、その通信の切断または制限を行うこと

2. 前項の規定により、当社が基本サービスを制限している期間内に、その制限の原因が解消されなかった場合は、当社は、基本サービスの提供を停止または休止することがあります。また、共通約款第 7 条（利用契約の単位と有効期間）第 3 項の規定に関わらず、利用契約を解除することができるものとします。

第 22 条（国際通話および国際ローミングの利用を制限する措置）

国際通話および国際ローミングの利用を制限するための利用停止目安額は、料金表に定めるものとし、加入者は、当該利用停止目安額は変更することはできないものとします。

2. 前項にかかわらず、サービス運用上の都合により、本利用停止目安額を超過しても直ちに利用停止されない場合があります。その場合、停止しない事由にかかわらず、当該超過した料金は減免しないものとします。
3. 加入者の平均的な利用実績または利用実績と比較して著しく高額である場合、加入者の利用状況の確認をすることがあります。なお、加入者の確認が取れない場合、利用の回線を一時的に停止することがあります。

第 23 条（端末設備に異常がある場合等の検査）

当社は、加入者回線に接続されている端末設備に異常がある場合その他電気通信サービスの円滑な提供に支障がある場合において必要があるときは、加入者に、その端末設備の接続が技術

基準等に適合するかどうかの検査を受けることを求めることがあります。この場合、加入者は、正当な理由がある場合その他事業法施行規則第 32 条第 2 項で定める場合を除き、検査を受けることを承諾するものとします。

2. 当社の係員は、第 1 項の検査を行う場合、所定の証明書を提示します。
3. 加入者は、第 1 項の検査を行った結果、端末設備が技術基準等に適合していると認められないときは、加入者回線へのその端末設備の接続を取りやめるものとします。
4. 本条の規定に違反して当社の検査を受けることを拒んだ場合、またはその検査の結果、技術基準等に適合していると認められない端末設備を当社の電気通信設備から取り外さなかった場合は、基本サービスの提供を停止することがあります。

第 24 条（自営電気通信設備に異常がある場合等の検査）

加入者回線に接続されている自営電気通信設備に異常がある場合その他電気通信サービスの円滑な提供に支障がある場合の検査については、前条（端末設備に異常がある場合等の検査）の規定に準じて取り扱うものとします。

2. 本条の規定に違反して当社の検査を受けることを拒んだ場合、またはその検査の結果、技術基準等に適合していると認められない自営電気通信設備を当社の電気通信設備から取り外さなかった場合は、基本サービスの提供を停止することがあります。

第 25 条（端末設備および自営電気通信設備が適合すべき技術基準等）

端末設備および自営電気通信設備が適合すべき技術基準等については、以下に定める規則によるものとします。

技術基準等
端末設備等規則（昭和 60 年郵政省令第 31 号）

2. 本条に規定する技術基準等に適合している認められない端末設備もしくは自営電気通信設備の加入者回線への接続を取りやめなかった場合、基本サービスの提供を停止することがあります。

第 26 条（端末設備の電波発射の停止命令があった場合の取り扱い）

加入者は、加入者回線に接続されている端末について、電波法（昭和 25 年法律第 131 号）の規定に基づき、ドコモ等が、総務大臣から臨時に電波発射の停止を命ぜられたときは、その端末設備の使用を停止して、無線設備規則（昭和 25 年電波監理委員会規則第 18 号）に適合するよう修理等を行うものとします。

2. 当社は、前項の修理等が完了したときは、電波法の規定に基づく検査等を受けるものとし、加入者は、正当な理由がある場合を除き、そのことを承諾するものとします。
3. 加入者は、前項の検査等の結果、端末設備が無線設備規則に適合していると認められないときは、加入者回線へのその端末設備の接続を中止するものとします。
4. 本条の規定に違反した場合、基本サービスの提供を停止することがあります。

第 27 条（端末設備の電波法に基づく検査）

前条（端末設備の電波発射の停止命令があった場合の取り扱い）に規定する検査のほか、端末の電波法に基づく検査を受ける場合の取り扱いについては、前条（端末設備の電波発射の停止命令があった場合の取り扱い）第 2 項および第 3 項の規定に準ずるものとします。

2. 本条の規定に違反した場合、基本サービスの提供を停止することがあります。

第 28 条（自営電気通信設備の電波発射の停止命令があった場合の取り扱い）

端末について、臨時に電波発射の停止命令があった場合の取り扱いについては、第 26 条（端末設備の電波発射の停止命令があった場合の取り扱い）の規定に準ずるものとします。

2. 本条の規定に違反した場合、基本サービスの提供を停止することがあります。

第 29 条（自営電気通信設備の電波法に基づく検査）

端末の電波法に基づく検査を受ける場合の取り扱いについては、第 27 条（端末設備の電波法に基づく検査）の規定に準ずるものとします。

2. 本条の規定に違反した場合、基本サービスの提供を停止することがあります。

第 30 条（Web フィルタリングの内容）

Web フィルタリングを利用する加入者は、Web フィルタリングにより、指定した特定の分野に属する Web ページ、および特定の Web ページの閲覧ができないよう設定を行うことができます。

2. 当社は、当社の定める方法により利用の申し込みを行い、使用許諾契約に同意した Web フィルタリングを利用しようとする加入者にシリアル ID を発行します。Web フィルタリングを利用しようとする加入者は、当社の定める方法により、シリアル ID を用いてソフトウェアを当社よりダウンロードし、端末にインストールすることにより、Web フィルタリングを利用するものとします。
3. 加入者は、シリアル ID を ID と同様に扱うものとします。

第 31 条（Norton マルチデバイスセキュリティの内容と免責事項）

Norton マルチデバイスセキュリティで利用できるソフトウェアは、ノートン™セキュリティとし、複数申し込むことができるものとします。

2. Norton マルチデバイスセキュリティを利用しようとする加入者は、当社およびソフトウェア開発企業の定める方法により、利用の申し込みを行い、ソフトウェアをダウンロードし、使用許諾契約に同意したうえで端末にインストールを行うことにより、Norton マルチデバイスセキュリティを利用するものとします。
3. Norton マルチデバイスセキュリティで利用できるソフトウェアに起因する不具合のサポートは、ソフトウェア開発企業が行うものとし、その不具合によって損害が生じた場合、当社はその責を負わないものとします。
4. Norton マルチデバイスセキュリティの複数のソフトウェアを利用する加入者は、共通約款第 37 条（オプションサービスの解約）の規定に則り、一つのソフトウェアのみを利用解除することができるものとします。

第 32 条（メールウイルスチェックの内容と免責事項）

メールウイルスチェックを利用する加入者は、加入者のメールまたはメーリングリストの送受信時に当該メールに含まれるウイルス（以下「メールウイルス」といいます。）について、当社がその時点で妥当と判断する基準（以下本条において「基準」といいます。）に基づき、当社サーバにてメールウイルスを除去し、安全度の高いメール送受信を行うことができます。

2. その時点で当社の基準に該当せず、当社サーバにて除去することができなかったメールウイルス、およびメール以外の手段により頒布されるウイルスによってメールウイルスチェックを利用する加入者および第三者が損害を被った場合、当社は責任を負わないものとします。
3. 当社は、メールウイルスチェックの完全性、正確性、適用性、有用性等に関し、いかなる保証もするものではなく、その利用によるメール（添付ファイルを含みます。）の損失等、メールウイルスチェックを利用する加入者および第三者の損害について、当社の責に帰すべき事由を除き、責任を負わないものとします。

第 33 条（迷惑メールチェックの内容と免責事項）

迷惑メールチェックを利用する加入者は、加入者の承諾なく一方的に送信される電子メールや一般的に不快感、嫌悪感を抱かせる内容の電子メール等を当社がその時点で妥当と判断する基準（以下本条において「基準」といいます。）と、迷惑メールチェックを利用する加入者が自ら設定した条件に基づき、迷惑メールを当社サーバにて、自動的に判別することができます。

2. 迷惑メールチェックでは、迷惑メールと判別されたメールの一部（件名、その他）に識別情報を付加したうえで、迷惑メールチェックを利用する加入者の設定により、当社サーバ上での

隔離および迷惑メールの隔離状況の通知を受けることができます。

3. 当社は、迷惑メール判別の精度のほか、迷惑メールチェックの完全性、正確性、適用性、有用性等に関し、いかなる保証もするものではなく、その利用によって迷惑メールチェックを利用する加入者および第三者が損害を被った場合、当社の責に帰すべき事由を除き、責任を負わないものとします。

第 34 条（セキュリティアプリの内容と免責事項）

セキュリティアプリを利用しようとする加入者は、当社およびソフトウェア開発企業の定める方法により、利用の申し込みを行い、ソフトウェアをダウンロードし、使用許諾契約に同意したうえで端末にインストールを行うことにより、セキュリティアプリを利用するものとします。

2. セキュリティアプリは、当社が定める推奨環境下でのみ利用することができるものとします。
3. セキュリティアプリを利用しようとする加入者は、セキュリティアプリを善良なる管理者としての注意をもって適正に管理する責任を負い、第三者に貸与、譲渡、売買等をしてはならないものとします。

第 35 条（危険SMS拒否設定と免責事項）

加入者は、イッツコム スマホ（イッツコム SIM 音声プラン）において、ドコモが提供する危険SMS拒否設定（フィッシング詐欺等対策を目的として、ドコモによって判定された危険なSMSを自動で拒否する機能を提供するもの）が適用されることについて、あらかじめ同意するものとします。ただし、加入者は、危険SMS拒否設定の適用後、別途当社が定める方法により、設定の適用を任意で変更することが可能です。

2. 危険SMS拒否設定の利用には、以下の条件が適用されます。
 - (1) イッツコム スマホ（イッツコム SIM 音声プラン）の利用開始日に自動適用されます。
 - (2) 「SMS一括拒否」および「個別番号受信」の設定と併用することはできません。
3. 当社は、危険SMSの判定精度のほか、危険SMS拒否設定の完全性、正確性、適用性、有用性等に関し、いかなる保証もするものではなく、その利用によるSMSの損失等、危険SMS拒否設定を利用する加入者および第三者の損害について、当社の責に帰すべき事由を除き、責任を負わないものとします。

第 3 章 雑則

第 36 条（通信の秘密）

当社は、法第 4 条に基づき、加入者の通信の秘密を守るものとします。

2. 当社は、刑事訴訟法第 218 条（令状による差し押え・捜索・検証）その他同法の定めに基づく強制の処分が行われた場合には、当該法令および令状に定める範囲で、前項の守秘義務を負わないものとします。
3. 当社は、警察官、検察官、検察事務官、国税職員、麻薬取締官、弁護士会、裁判所等の法律上の照会権限を有する者から、法令等に基づき照会を受けた場合、第 1 項の規定にかかわらず加入者の通信の照会に応じることができるものとします。

第 37 条（サイバー攻撃への対処）

当社は、当社または加入者の電気通信設備に対するサイバー攻撃へ対処を行うため、次に掲げる事項の全部または一部を実施することができるものとします。ただし、かかる措置の実施が法令上許容される場合に限りです。

- (1) 国立研究開発法人情報通信研究機構法（平成 11 年法律第 162 号）に基づき国立研究開発情報通信研究機構が行う特定アクセス行為に係る電気通信の送信先の電気通信設備に関して、同機構が行う、送信型対電気通信設備サイバー攻撃（情報通信ネットワークまたは電磁的方式で作られた記録に係る記録媒体を通じた電子計算機に対する攻撃のうち、

送信先の電気通信設備の機能に障害を与える電気通信の送信により行われるサイバー攻撃をいいます。以下本条において同じとします。)のおそれへの対処を求める通知に基づき、当該送信型対電気通信設備サイバー攻撃により当社の電気通信役務の提供に支障が生ずるおそれがある場合に、必要な限度で、当該特定アクセス行為に係る電気通信の送信先の電気通信設備のIPアドレスおよびタイムスタンプから、当該電気通信設備を接続する契約者を確認し、注意喚起を行うこと。

- (2) 加入者が、C&Cサーバ等のサイバー攻撃に用いられるサーバと通信することを遮断するために、DNSサーバへの名前解決要求の際のクエリログその他関連する通信記録を自動的に検知すること。なお、加入者は、基本サービスを利用している間いつでも、加入者の選択により、かかる検知および遮断が行われない設定に変更できるものとします。

第38条（機密保持）

加入者および当社は、基本サービスの提供に関連して知り得た相手方の機密情報を、利用契約終了後といえども相手方の同意なしに第三者に開示、提供しないものとします。

2. 当社は、刑事訴訟法第218条（令状による差し押え・捜索・検証）その他同法の定めに基づく強制の処分が行われた場合には、当該法令および令状に定める範囲で、前項の守秘義務を負わないものとします。
3. 当社は、警察官、検察官、検察事務官、国税職員、麻薬取締官、弁護士会、裁判所等の法律上の照会権限を有する者から、法令等に基づき照会を受けた場合、第1項の規定にかかわらず、機密情報の照会に応じることができるものとします。
4. 当社は、第1項の規定にかかわらず、当社と秘密保持条項を含む業務委託請負契約を締結した外部委託業者等に、当社が業務上必要な加入者の機密情報を提供することがあります。

第39条（禁止事項）

加入者は、基本サービスの利用にあたり、次の各号に該当する行為を行うことができないものとします。

（1）機器および施設の改変行為

- ① 当社から貸与した機器を譲渡、質入れ、転貸する、またはそのおそれのある行為。加入者が当社から購入した機器を譲渡・質入れする行為
- ② 当社から貸与した機器または当社施設を変更、分解、改変または付加物等を取り付ける、またはそのおそれのある行為。ただし、天災地変、または、その他の非常事態に際して保護する必要があるとき、保守の必要があるとき、もしくは、当社が業務の遂行上支障がないと認める場合は、この限りではありません。
- ③ 不正な手段を用いて当社が基本サービスを提供するために使用する設備に接続する行為

（2）当社の承諾のないサービスの利用行為

- ① 基本サービスを利用して営利目的の活動をする、またはしようとする行為
- ② ID、パスワードおよび加入者回線等番号を不正使用する行為
- ③ 基本サービスを第三者が利用できる状態にする、またはそのおそれのある行為

（3）ソフトウェア、コンテンツおよびデータの不正使用

- ① ソフトウェアおよびコンテンツを改変し、またはリバースエンジニアリング（主にソフトウェアの内容を解析して、人間が読み取り可能な形に変換することを指します。）、逆コンパイル、逆アセンブルその他これらに類する行為、またはそのおそれのある行為
- ② ソフトウェアおよびコンテンツの全部または一部を複製、翻案、翻訳もしくは編集その他の変更を加える行為、またはそのおそれのある行為
- ③ ソフトウェアおよびコンテンツの全部または一部を、有償、無償を問わず公衆送信、頒布、譲渡、貸与その他利用する、またはそのおそれのある行為

（4）違法・有害情報に関する行為

- ① 当社もしくは第三者の著作権、商標権等の知的財産権を侵害する行為、または侵害するおそれのある行為

- ②当社および第三者の財産、プライバシーもしくは肖像権を侵害する行為、または侵害するおそれのある行為
 - ③当社および第三者を不当に差別もしくは誹謗中傷・侮辱し、当社および第三者への不当な差別を助長し、またはその名誉もしくは信用を毀損する行為
 - ④詐欺、児童売買春、預貯金口座および携帯電話の違法な売買等の犯罪に結びつく、または結びつくおそれの高い行為
 - ⑤わいせつ、児童ポルノもしくは児童虐待に相当する画像、映像、音声もしくは文書等を送信または表示する行為、またはこれらを収録した媒体を販売する行為、またはその送信、表示、販売を想起させる広告を表示または送信する行為
 - ⑥薬物犯罪、規制薬物等の濫用に結びつく、もしくは結びつくおそれの高い行為、または未承認医薬品等の広告を行う行為
 - ⑦販売または頒布をする目的で、広告規制の対象となる希少野生動植物種の個体等の広告を行う行為
 - ⑧貸金業を営む登録を受けないで、金銭の貸付の広告を行う行為
 - ⑨無限連鎖講（ネズミ講）を開設し、またはこれを勧誘する行為
 - ⑩当社の設備等に蓄積された情報を不正に書き換え、消去する、またはそのおそれのある行為
 - ⑪第三者になりすまして基本サービスを利用する行為
 - ⑫ウイルス等の有害なコンピュータプログラム等を送信、掲載する、またはそのおそれのある行為
 - ⑬無断で当社および第三者に広告、宣伝もしくは勧誘のメールを送信する行為、または社会通念上当社および第三者に嫌悪感を抱かせる、もしくはそのおそれのあるメールを送信する行為
 - ⑭第三者の設備等または基本サービスに用いる設備等の利用、もしくは運営に支障を与える行為、または与えるおそれのある行為
 - ⑮基本サービスの提供に支障を与える行為、または与えるおそれのある行為
 - ⑯違法な賭博・ギャンブルを行わせ、または違法な賭博・ギャンブルへの参加を勧誘する行為
 - ⑰違法行為（けん銃等の譲渡、爆発物の不正な製造、児童ポルノの提供、公文書偽造、殺人、脅迫等）を請け負い、仲介しまたは誘引（他人に依頼することを含みます。）する行為
 - ⑱人の殺害現場の画像等の残虐な情報、動物を殺傷・虐待する画像等の情報、その他社会通念上第三者に著しく嫌悪感を抱かせる情報を不特定多数の者に対して送信する行為
 - ⑲人を自殺に誘引または勧誘する行為、または第三者に危害の及ぶおそれの高い自殺の手段等を紹介するなどの行為
 - ⑳その行為が前各号のいずれかに該当することを知りつつ、その行為を助長する態様または目的でリンクをはる行為
 - ㉑犯罪や違法行為に結びつく、またはそのおそれの高い情報や、他者を不当に誹謗中傷・侮辱したり、プライバシーを侵害したりする情報を、不特定の者をして掲載等させることを助長する行為
 - ㉒その他、公序良俗に違反し、または当社および第三者の権利を侵害すると当社が判断した行為
- (5) その他
- ①その他、基本サービスの運営を妨げるなど、当社が不相当と判断する行為
 - ②その他、法令に違反し、またはそのおそれのある行為

第 40 条（情報の削除等）

当社は、加入者による基本サービスの利用が前条（禁止事項）各号に該当する場合、当該利用に関し、第三者から当社に対しクレーム、請求等が為され、かつ当社が必要と認めた場合、または

その他の理由で基本サービスの運営上不適当と当社が判断したときは、当該加入者に対し、次の措置のいずれかまたはこれらを組み合わせて講ずることがあります。

- (1) 前条（禁止事項）各号に該当する行為をやめるように要求します
- (2) 第三者との間で、クレーム等の解消のための協議を行うよう要求します
- (3) 加入者に対して、表示した情報の削除を要求します
- (4) 事前に通知することなく、加入者が発信または表示する情報の全部もしくは一部を削除し、または第三者が閲覧できない状態に置きます

2. 前項の措置は加入者の自己責任の原則を否定するものではなく、前項の規定の解釈、運用に際しては自己責任の原則が尊重されるものとします。

第 41 条（著作権等）

基本サービスに関する著作権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権等の権利を含む一切の権利は、当社および関係する権利保有者に帰属するものとします。加入者は、基本サービスのコンテンツを当社に無断で、複製、改変、蓄積、転送等を行うことはできないものとします。

第 42 条（損害賠償の免責および特約事項）

当社が、第 18 条（通信速度）、第 20 条（通信利用の制限）、第 21 条（通信の利用を制限する措置）および第 22 条（国際通話および国際ローミングの利用を制限する措置）の規定により、基本サービスの提供を制限したことによって、加入者が損害を被った場合、当社は一切責任を負わないものとします。

2. 加入者が、第 11 条（加入者の維持責任）第 1 項、第 38 条（機密保持）第 1 項、第 39 条（禁止事項）および前条（著作権等）について、過失、不正、違法な行為を犯し、当社に損害を与えた場合には、当該加入者に対して相応の損害賠償の請求を行うことができるものとします。
3. 当社は、電気通信設備の設置、修理、復旧等に当たって、その電気通信設備に記憶されている内容等が変化または消失したことにより、加入者または第三者に対し損害を与えた場合、その損害を賠償しないものとします。
4. 当社は、基本サービス約款等の変更により端末設備または自営電気通信設備の改造または変更（以下この条において「改造等」といいます。）を要することとなる場合であっても、その改造等に要する費用については負担しないものとします。
5. 当社は、加入者が基本サービスを利用することにより得た情報等（コンピュータプログラムを含みます。）について何等の責任も負わないものとします。また、これらの情報等に起因して生じた一切の損害に対しても、何等の責任を負わないものとします。
6. 当社は、電波状態に起因し、基本サービスの利用により送受信された情報等が破損または滅失したとしても、一切責任を負わないものとします。

付則

- (1) 当社は特に必要があるときには、基本サービス約款に特約を付することができるものとします。
- (2) 第 4 条（基本サービスの内容）第 2 項に定めるサービス品目のうち、2021 年 9 月 30 日に提供を終了した音声プラン（15GB）、音声プラン（12GB）、音声プラン（8GB）、データ専用プラン（15GB）、データ専用プラン（8GB）の加入者は、2021 年 10 月 1 日より次の通りサービス品目を移行します。
 - ・ 音声プラン（15GB）および音声プラン（12GB）は、音声プラン（20GB）へ移行
 - ・ 音声プラン（8GB）は、音声プラン（10GB）へ移行
 - ・ データ専用プラン（15GB）は、データ専用プラン（20GB）へ移行
 - ・ データ専用プラン（8GB）は、データ専用プラン（10GB）へ移行
- (3) 基本サービス約款は、2024 年 11 月 1 日より施行します。

●音声プランにおける初期設定サポートに関する特約

加入者が第4条（基本サービスの内容）に定めるサービス品目「音声プラン」の利用契約と同時に初期設定サポートを申し込む場合、本特約を適用するものとします。

1.（適用条件）

- （1）回線識別番号1番号に対して、1回のみ利用できるものとし、複数回利用できないものとしします。
- （2）初期設定サポートの提供を受ける権利を第三者に譲渡することはできないものとしします。
- （3）初期設定サポートを利用する加入者は、設定に必要な情報を当社の求めに応じて提供し、当社または当社の業務委託先がこれらを利用するものとします。また、当社または当社の業務委託先から指定された操作を、原則初期設定サポートを利用する加入者自身が行うものとしします。

2.（初期設定サポートの内容）

当社は、初期設定サポートとして、番号ポータビリティ回線切り替えの作業と、別に定めるイッツコムとことんサポートの料金表「安心安全サービス 訪問サポート費」の以下の作業を無料で提供するものとします。

- （1）イッツコム SIM作業内容
 - ・ 端末 APN 設定
 - ・ Google 関連設定
 - ・ 当社指定のアプリケーションのインストール
 - ・ 電話帳移行
 - ・ LINE 移行
 - ・ データ移行
- （2）インターネットサービス作業内容
 - ・ スマートフォンの無線 LAN 接続・設定（当社ケーブル回線）
 - ・ メールソフト設定（当社のメールアドレス取得）

3.（免責）

- （1）当社は、本特約に定める初期設定サポートの正確性、有用性、完全性について保証しないものとしします。
- （2）当社は、本特約の規定により生じた、次に該当する損害について、一切の責任を負わないものとしします。
 - ・ 所有機器に保存されているデータの消失、毀損、改変等により生じた損害
 - ・ 天災地変、その他当社の責に帰することができない事由により生じた損害

●ケーブルテレビ品川エリア版 イッツコム SIMに関する特約

加入者がケーブルテレビ品川エリア版 イッツコム SIM契約約款に基づき基本サービスを利用する場合、下表の通り、左記の規定は右記の規定に読み替えるものとします。

基本サービス約款の規定	読み替える規定
第7条（利用契約の単位と期間）第4項中「共通約款第9条（利用契約の成立と利用開始日）第3項」	「ケーブルテレビ品川エリア版 イッツコム SIM契約約款第5条（利用契約の申し込み、成立、利用開始日）第4項」
第7条（利用契約の単位と期間）第7項中「共通約款第11条（契約内容の変更）」	「ケーブルテレビ品川エリア版 イッツコム SIM契約約款第14条（利用申込書記載事項の変更）」
第7条（利用契約の単位と期間）第7項中「共通約款第25条（利用契約終了に伴う）」	「ケーブルテレビ品川エリア版 イッツコム SIM契約約款第21条（料金の支払い等）第

料金等の精算方法) 第2項]	9項]
第21条(通信の利用を制限する措置) 第2項中「共通約款第7条(利用契約の単位と有効期間) 第3項]	「基本サービス約款第7条(利用契約の単位と期間) 第4項および第5項]
第31条(Norton マルチデバイスセキュリティの内容と免責事項) 第4項中「共通約款第37条(オプションサービスの解約)」	「ケーブルテレビ品川エリア版 イッツコムSIM契約約款第9条(オプションサービスの解約)」